

よこそうをよりよく知るためのフリーマガジン

プロムナード

2024年

9月号

Vol.377

毎月1日発行

特集『よこそうの

訪問診療について』

在宅科医 原田秀樹

よこそうニュース

『横浜シルバープラザ&緑の郷納涼祭』他

連載

Dr.長田の認知症学事始

Dr.田中の糖尿病人物往来

谷川博士のお薬よもやま話

薬剤師さんにキイテミタ

よこそう医療福祉情報局

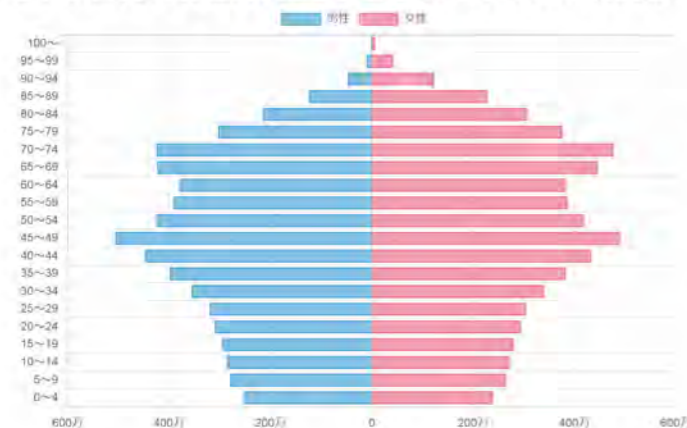
マイフェイバリットプレイス



高まる訪問サービスの必要性

日本は、世界でも最も高齢化が進んでいる国の一つです。2024年時点で、65歳以上の高齢者の割合は約30%に達しています。これは、国民の約3人に1人が65歳以上ということの意味します。また、80歳以上の高齢者も増加しており、10人に1人が80歳以上になると予測されています。

日本の年代別・男女別の人口ピラミッドグラフ(2019年最新版)



GraphToChart.「グラフで見る日本の人口ピラミッド(全年齢・男女別・過去との比較・少子化と高齢社会の考察)」。最終更新:2020-08-30。
<https://graphtochart.com/population/japan-pyramid.php>(参照日時:2024-08-06)

このような高齢化が進む背景には、医療の進歩によって寿命が延びたこと、また少子化により総人口が減少していることがあります。高齢者が増えると、医療や介護に対するニーズも増大・変化し、これに応じたサービスの提供が必要不可欠となります。

当院の所在する横浜市青葉区も、全体的に高齢化が進んでいる地域です。青葉区の65歳以上の高齢者の割合は約25.3%(2023年時点)で、地域の人口のほぼ4人に1人が65歳以上です。また、75歳以上の高齢者の数も増加しており、老年人口の半分を占めています。

高齢化とともに病院やクリニックへの通院が困難となり、必要な医療を受けることが困難となる方が増加することが考えられ、今後も訪問医療を含めた訪問サービスの必要性は益々高まると予想されています。

訪問診療のメリット

1. 通院が困難な方の対応

高齢者の中には、通院が困難な方が多くいます。たとえば、腰や膝に問題を抱えている方、または麻痺や筋力低下などのため転倒リスクが高い方は、外出や公共交通機関の利用が難しい場合があります。多くの高齢者が歩行に困難を感じておられ、訪問診療が提供されることで、自宅で医療を受けることができ、移動の負担を大幅に軽減できます。

訪問診療では、医師や看護師が自宅に直接訪問し、必要な医療行為を行います。これにより、通院のストレスや体力的な負担を軽減できるだけでなく、採血などの必要な検査や治療も自宅で受けることができます。



公共交通機関を利用する通院は場合によっては大きな負担となります

よこそうの

訪問診療

について

(在宅科医 原田 秀樹)



ご自宅での訪問診療による「安心感」を提供します

2. 慢性疾患の管理

高齢者は慢性疾患を抱えていることが多く、特に糖尿病や高血圧、心疾患などの管理が重要です。日本では、65歳以上の高齢者の約3割が糖尿病を抱えているとされています。また、高血圧や心疾患も非常に多く見られます。これらの疾患は、長年にわたる管理が必要であり、定期的な診察や治療の調整が欠かせません。

訪問診療を利用することで、定期的に医師が自宅を訪れ、病状のチェックや治療の調整を行うことができます。これにより、病状が悪化する前に適切な対策を講じることができ、健康の維持がしやすくなります。また、医師や看護師などが自宅に訪問することで、患者さんの生活環境を直接確認できるため、より適切なアドバイスや治療が可能です。

3. 安心感の提供

高齢者にとって、通院や入院は精神的な負担が大きいことがあります。自宅などでの訪問診療は、普段の生活空間で医療を受けることができるため、安心感を提供します。特に、医療機関での待ち時間や病院内の環境がストレスとなることも多く、訪問診療を利用することで、このような不安を軽減することができます。

4. 個別対応ときめ細かなケア

訪問診療では、医師や看護師、ケアマネジャーなど様々な医療、介護サービス提供者が患者さんの自宅に直接訪問するため、個別対応がしやすくなります。例えば、自宅内での転倒リスクや生活環境の改善点を直接確認することができ、患者さんの具体的な状況に応じたアドバイスができます。医療機関では見ることができない、家庭での実際の生活状況を把握することで、より適切なケアが提供されます。

また、高齢者は時に複数の疾患を抱えていることが多く、複雑な治療や調整が必要です。訪問診療では、訪問医師が長期的に患者さんの状況を把握し、必要に応じた医療調整を行うことができます。これにより、一貫したケアが提供され、患者さんの健康をより包括的にサポートすることができます。



医療チーム全体で個別に対応します



ご家族の負担が軽減されます

5. 家族へのサポート

高齢者の介護や看護は、家族にとって大変な負担になることがあります。訪問診療など訪問サービスを利用することで、医師や看護師が自宅に訪問し、必要な医療や介護サービスを提供してくれるため、家族の負担が軽減されます。

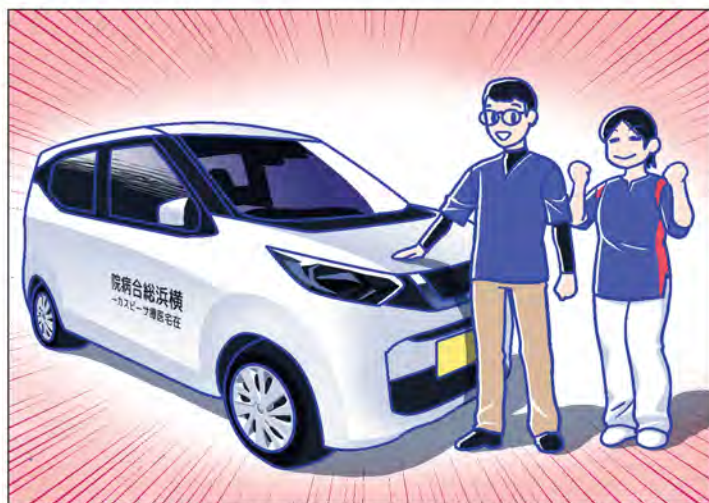
家族が介護や看護に専念できる環境が整うことで、家庭内でのストレスや疲労を減らすことができ、結果的に家族全体の生活の質が向上します。訪問診療を通じて、家族全員が協力して高齢者の健康をサポートできる体制を作ることが可能になります。

当院の訪問診療について

当院では30年以上前から訪問診療を開始しています。現在の訪問先では認知症、脳卒中、心臓疾患の方がそれぞれ約4分の1づつ、ほかに癌、糖尿病、呼吸器疾患などの方々を対象に訪問しており、通常の診察のほか、採血検査や導尿カテーテル・胃瘻チューブの交換、在宅酸素療法の管理対応などを提供しています。

訪問回数はおおよそ月1~2回ですが、病状悪化や末期の癌の方などでは訪問回数を増やしたり、必要に応じて臨時往診を行っています。

病院が提供する訪問診療のため、病状悪化時や専門科対応が必要な場合に救急受診や専門科医師との連携が取りやすいのは当院訪問診療の特徴かもしれません。



在宅医療サービスカーでお伺いします

現在当院に入院中で退院後通院が難しい、あるいは外来通院中の方で徐々に通院するのが大変になってきたという方で、当院の訪問診療に興味があるという方は主治医または地域医療総合支援センターに相談してみてください。



地域医療総合支援センター
045-903-7152 【平日】 9:00~17:00
FAX 045-904-5556 【土曜日】 9:00~13:00

原田 秀樹 / Hideki Harada

在宅科部長

自治医科大学(1992年卒)
 大津赤十字病院
 滋賀県立精神保健総合センター
 大津赤十字志賀病院
 芦花公園クリニック
 港北メディカルクリニック



<https://yokoso.or.jp/department/homecare>



Dr. 田中の糖尿病人物往来



第5回 1型糖尿病のメジャーリーガー、ガリクソン投手

毎回のシリーズでは糖尿病に関わりのある人物や物事をご紹介します。雑学的内容ですが糖尿病の予防・治療に関する何らかのヒントになれば幸いです。

糖尿病センター長 田中 逸



ウィリアム・リー・ガリクソン 1959~

1型糖尿病とは

糖尿病には3種類のタイプがあります。1型糖尿病、2型糖尿病、その他の糖尿病の3種類です。通常、糖尿病と言われるのは2型糖尿病で、糖尿病全体の90%が2型糖尿病です。これに対して、1型糖尿病は何らかの免疫の異常が膵臓で起こり、インスリンがほとんど分泌されなくなる病気です。そのため、終生インスリンの注射が必要となります。これまで元気だった方が、急に喉が渇くようになった、尿の回数が増えて水分を大量に飲む、食事をとっているのにやせてきた、などと訴えられる場合は1型糖尿病の可能性を疑って検査します。糖尿病全体の5~10%程度が1型糖尿病です。その他の糖尿病は薬剤や他の病気の影響で血糖が上がるタイプです。

21歳で1型糖尿病を発症

今回はビル・ガリクソン投手を取り上げます。彼は1959年に米国ミネソタ州で生まれました。小さい時から野球少年で、高校卒業後にモンリオール・エクスポズに入団します。ところが21歳になった時、1型糖尿病を発症しました。元気だった自分がなぜこのような病気になったのか、インスリン注射をしながら野球選手としてやっていけるか、悶々とした不安な日々が続きました。気持ちの切り替えになったのは、1週間入院したことでした。小児科の糖尿病病棟に入院した彼は、1型糖尿病の子供たちと共にインスリン注射の方法、血糖コントロールを良くするための生活の注意点、食事療法のポイントなどを学びました。

メジャーリーガーとして活躍後に読売ジャイアンツに入団

「No.1の野球選手になるためには、No.1の糖尿病患者にならなくては」をモットーに、彼は血糖が安定するための食事の摂り方やインスリンの注射方法を工夫しました。監督やチームメートの理解にも助けられ、21歳の若さでメジャーリーグに昇格した彼は、そのシーズンに10勝5敗の好成績を上げました。その後、シンシナティ・レッズ、ニューヨーク・ヤンキースを経て1988年来日し、読売ジャイアンツに入団しました。投手として2年間活躍し、21勝14敗という素晴らしい成績を残して1990年に米国に帰国しました。

ナイスコントロール! ~ガリクソン投手のおくりもの~



『ナイスコントロール! ガリクソン投手のおくりもの』B.Gullikson 著/鈴木吉彦 訳

彼が日本で残したものは、投手としての成績だけではありません。日本の1型糖尿病の患者さんの励ましになるように、治療の参考になるようにとの思いから、写真の本を執筆しました。1990年に出版され、大きな話題になりました。多くの糖尿病患者さんがこの本からたくさんの知恵と勇気をもらいました。大阪桐蔭高校野球部のエース投手だった、岩田 稔 さんもその一人でした。高校2年の時に1型糖尿病を発症した彼が担当医の先生から勧められたのがこの本でした。彼はこの本をきっかけに気持ちを切り替え、インスリン治療に取り組み、関西大学を経て2005年に阪神タイガースに入団しました。その後左腕の投手として大活躍し、2021年にタイガースを退団しました。ガリクソン投手はこの本の印税はすべて日本糖尿病協会に寄付しました。その後、残念ながら数年でこの本は廃刊になりました。廃刊になっていますが、横浜市立図書館で借りることができます。

その代わりにすべくDVDを制作しました

ガリクソン投手の思いがこもった名著の少しでも代わりになるものと考えて、制作したのが写真のDVDです。以前、私は糖尿病の啓蒙と知識の普及を目的とするNPO法人を運営していました。1型糖尿病を小学生で発症した大村詠一さん(元エアロビック競技日本代表)と岩田稔選手に協力頂いてこのDVDを制作し、1型糖尿病の診療を行っている全国の医療機関に無料配布しました。制作から10数年経ちましたが、今でもこのDVDを使って頂いている施設が多くあり、1型糖尿病患者さんの少しでもお役に立てればと願っています。



『新しい明日に向けて 初めて1型糖尿病と言われた方へ』NPO法人「川崎糖尿病スクエア」企画・制作



Dr. 長田の

認知症事始

にんちしょうがくことはじめ

優位半球と非優位半球

われわれの脳には、左右の大脳半球に役割分担があり、右利きの人の99%は、話す、聞いて理解する、文字を書く、読むといった言語を司る機能が、左大脳半球に偏在するので、左大脳半球は言語に対する「優位半球」と呼ばれます。これに対して右大脳半球は、空間認知に関わる機能などを担っており、言語機能には殆んど係わっていないので、言語に対しては「非優位半球」と呼ばれます。一般的に左大脳半球は右側の空間(右視野)のみに対する注意を担っているのに対して、右大脳半球

り、気付かないかのように振る舞う症状が見られ、「左半側空間無視」と呼ばれます。右半球の脳卒中患者さんの半数近くで、左半側空間無視が認められます。具体的には、右側ばかり向いていて、左側から声を掛けても気付かない、食事のときには、テーブルの右側に置かれたお皿やお碗の食べ物ばかり食べる、さらには、お皿に盛られた料理の右側半分だけ食べる、ジグソーパズルでは、右側のピースだけを並べて「できました」と言ったりします。また、自分自身の左半身に対しても注意が十分に及ばなくなるので、左側にある障害物に左半身をぶつけることが多くなります。



は左側の空間(左視野)に加えて、右視野に対する注意にも係わっています。そのために、左大脳半球が損傷されても、右大脳半球が損傷されなければ、右視野に対する注意は障害されません。これに対して右大脳半球に損傷が生じると、左大脳半球が正常に機能しても、左視野に対する注意が障害されることとなります。

左半側空間無視

右大脳半球に脳出血や脳梗塞を起こすと、左側の視野に注意が向かず、左側にある物を無視した

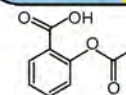


アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症でも、脳卒中の場合よりは症状の程度は軽いものの、左視野に置かれた物をなかなか見つけれない、移動中に通路の左側に存在する目印や障害物を見落とす、左側の段差に躓き易いなど、左半側空間無視が^{しばしば}認められます。左半側空間無視に対しては、左視野に注意が向くようさまざまな取り組みが行われていますが、本人が症状に気付かないことが左半側空間無視の本質なのでなかなか功を奏しません。症状が顕著な場合には、安全のために外出時に介護者が付き添うことも必要です。

次号連載第二十五回
に続きます

お薬にまつわる
あんな話こんな話
そんな話

谷川博士の



お薬よもやま話

薬剤部長
谷川 浩司

<連載第17回>

Illustration by Ken Nagata

お薬の飲み合わせ：排泄への影響

■薬物相互作用の分量が、思いのほか多くなってしまいました。それだけ、薬物相互作用は奥深いということでもあるのですが、あまり続けても飽きて他の話題に移れないので、この回含めあと2回くらいで一区切りにしようと思います。

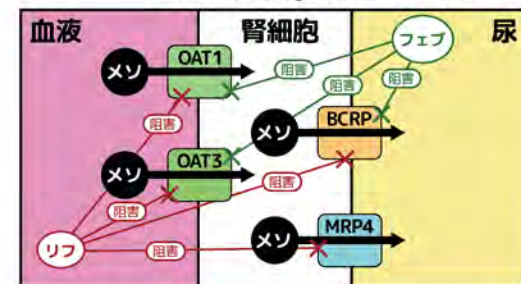
■さて前回まで、吸収、分布、代謝と薬物動態学的相互作用の説明をしてきましたが、今回は薬物動態の最後のステップである「排泄」における相互作用について説明したいと思います。

メトトレキサート(長いので、以下、「メソ」とします)というお薬があります。元々、悪性腫瘍の治療薬として開発されましたが、現在では、関節リウマチや乾癬などの自己免疫疾患の治療にも用いられています。メソは内服や注射によって投与されたのち、肝臓で代謝を受けますが、その割合は10%~20%であり、投与されたメソの多く(80%~90%)は腎臓から排泄されます。腎臓では、OAT1、OAT3、BCRP、MRP2及びMRP4といったトランスポータを介して尿中に排泄されますので、これらのトランスポータに影響を及ぼすお薬を併用すると、薬物相互作用が生じることがあります。メトトレキサートと他のお薬との相互作用について検討した研究成果^{引用文献1)}を以下で紹介いたします。

健康成人男性12名に対し、メソ単独、リファンピシン(以下、**リフ**)併用、フェブキソスタット(以下、**フェブ**)併用、**リフ**と**フェブ**(**リフ・フェブ**)併用の4通り(いずれも内服)でメソの血漿中濃度を測定し、その薬物動態を比較しました。結果を示す前に、併用薬として、なぜ**リフ**と**フェブ**(名前が兄弟のように似ていますので頑張って区別しましょう)が選ばれたかを説明します。

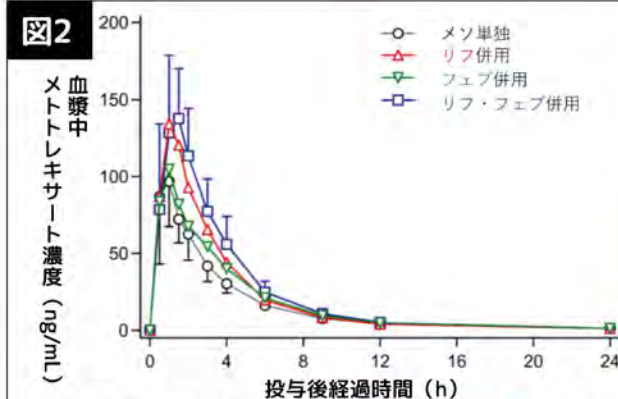
リフは結核の治療に用いられるお薬ですが、OAT1、OAT3、BCRP及びMRP4を阻害する作用を持ちます。また、フェブはOAT1、OAT3及びBCRPを阻害する作用を持ちます。つまり、メソの排泄に寄与しているトランスポータに対して、阻害作用を示す可能性があるため(図1)、この研究では併用薬として選ばれているのです。

図1 関連トランスポータの種類
OAT : Organic Anion Transporter
BCRP : Breast Cancer Resistance Protein
MRP : Multidrug Resistance Protein



メトトレキサートの腎排泄と
関連トランスポータに対する阻害作用

さて、それでは結果を見てください(図2)。



メトトレキサートを単独、**リファンピシン**を併用、**フェブキソスタット**を併用、及び**リファンピシン**と**フェブキソスタット**を併用したときの血漿中メトトレキサート濃度の推移

血漿中メトトレキサート濃度推移は、メソ単独の場合に比べ、フェブ併用では若干高いものの、それほど差がないのに対し、リフ併用及びリフ・フェブ併用の場合は明らかに血漿中濃度が高くなっています。これはつまり、リフ又はリフ・フェブ併用によって、メソの作用が想定よりも強くなる、つまり副作用も強く出る可能性があります。これは、リフやフェブだけではなく、OAT1、OAT3、BCRPやMRP4を阻害する他のお薬を併用しても、同様の影響を及ぼすことが予想されますので、併用薬には十分な注意が必要ということになります。

引用文献1) Hwang S, et al., Clin Pharmacol Ther, 2024 Jun 11; doi: 10.1002/cpt.3329.

次号も博士のよもやまが続きます





ズバリよこそう薬局のキイワード

第4回

お薬まつわる質問を現役の薬剤師さんに聞き、専門家目線でのアドバイスなどを解説入りでご紹介します！

薬剤師：高田 啓介
出身：神奈川県相模原市
好きな食べ物：子供と一緒に食べる回転寿司
(好きなネタは中トロ)

Q やりがいについて聞かせてください

—よこそうでの仕事について—

2009年に新卒でよこそうに入職し今年で16年目となります。2011年から2017年の間、よこそうを一度離れ大学病院に転職し、感染対策を行う部署での業務を経験して戻ってきました。

大学時代、調剤薬局への就職が決まった後に母親を感染症で亡くしたことがきっかけで病棟にて感染対策サポートを専門的に行う薬剤師を目指すようになりました。2009年当時は薬剤師が病棟で働くことができる病院はそれほど多くなかったのですが、よこそうは既にそのような環境が出来ていたことが就職先として選んだ理由です。

現在は若手薬剤師の指導および4階東病棟(内科)にて感染症(尿路感染や肺炎など)患者さんのサポート業務を担当しています。毎日忙しいですが、自分が専門としている感染対策業務の経験を活かすことができていると思います。医療現場において感染症で困っている患者さんを救済したいという気持ちを常に持ちながら仕事をしています。



—仕事でのやりがいについて—

日々の仕事の中でやりがいを感じることは数多くあります。いくつかの例を紹介させていただくと、過去に敗血症の患者さんが入院していて、命が危ぶまれる状態の時に薬の使い方を医師と一緒に決め、患者さんの命を救えた経験は病棟業務を行う薬剤師冥利に尽きると思いました。

あとは若手薬剤師の成長を感じる場面もやりがいを感じる瞬間です。私が仕事を覚える際に時間と苦労をかけ習得したコツやノウハウを若手薬剤師

次回第5回は…

Q ズバリよこそう薬局の魅力とは？



ゆっくり見て
いってネ♪



<https://yokoso.or.jp/bumon/pharmaceutical>

に教える事で、すぐにできるようになった姿を見ると自分の行ってきた仕事が役に立っていると実感することができ嬉しい気持ちになります。

—プロムナードの読者の皆様に一言お願いします—

よこそうの薬剤部には抗生物質など、お薬の扱い方のプロが集まっています。薬の飲み合わせや、取扱いなど少しでも分からないことがあればお気軽にお尋ねください。

よこそう 医療福祉情報局 No.18

医療ソーシャルワーカー
ってなあに？

医療ソーシャルワーカーは
社会福祉の支援をする
専門職です

医療ソーシャルワーカーとは

医療ソーシャルワーカー (Medical Social Worker : MSW) とは、倫理綱領・業務指針に基づいて患者さんとその家族を社会福祉の面から支援を行う専門職です。『医療ソーシャルワーカー業務指針』(厚生労働省)では、医療ソーシャルワーカーの業務として「療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助」「退院援助」「社会復帰援助」「受診・受療援助」「経済的問題の解決、調整援助」「地域活動」の業務が示されています。

医療ソーシャルワーカーという職は、19世紀末から20世紀初頭にかけて、英米の貧しい労働者階級への対応策として誕生しました。日本では1929年に、浅賀ふさ氏が聖路加国際病院ではじめて導入しています。



横浜総合病院の相談窓口は地域医療総合支援センターです。
お気軽にお声かけください。☎ 045-903-7152 (患者相談室)

参考：医療ソーシャルワーカー業務指針(厚生労働省) 医療ソーシャルワーカー倫理綱領、
医療ソーシャルワーカー行動基準ガイドライン(公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)



よこそう職員によるよこそうの
おすすめスポットをご紹介します



聖地巡礼

【馬ロック(西伊豆町/黄金崎)】



※あふる「ゆるキャン△」、芳文社

今回は西伊豆町の「馬ロック」を紹介します。南伊豆から海岸線を走る国道136号線を松崎方面に進み堂ヶ島を過ぎ、さらに土肥方面に北上して「馬ロック」を目指します。しばらく進むと黄金崎公園への案内があり無事に到着。駐車場に車を止め展望台まで歩くこと数分、階段を上がると展望台から、紺碧色の駿河湾に向かって雄大に佇んでいる「馬の顔」のような奇岩が見え、素晴らしい絶景です。昭和初期にはこのような形ではなかったそうですが、長年波風に曝され、さらに馬の鼻の部分は大きな崖崩れがあり現在の形になったとのこと。「馬ロック」は、2015年に「日本の奇岩百景」に選ばれその後、休憩所のスタッフさんによれば、漫画で紹介※されてからは、来訪者が急増したそうです。また、競馬ファンから人気があるらしく、願掛け目的に訪れる方も多いそうです。興味のある方は是非お出掛けください。
(事務部・聖地巡礼隊)



※<https://yurucamp-shizuoka.com/modelplace/geospot>



※原作コミック第9巻より引用

【馬ロック】
(西伊豆町/黄金崎)

〒410-3501
静岡県賀茂郡西伊豆町宇久須
伊豆箱根鉄道「修善寺」駅より
東海バス「堂ヶ島・松崎行き」乗
車(約75分)→「黄金崎クリスタ
ルパーク」バス停下車、徒歩約
10分



横浜シルバープラザ&緑の郷合同納涼祭

8/4(日)横浜シルバープラザと緑の郷による納涼祭が盛大に行われました。合同での開催は5年振りということもあり大勢の方々にご来場いただきました。阿波踊りやおおば太鼓のパフォーマンスに加え、スタッフが用意した縁日や屋上からの花火などが用意され、とても楽しいお祭りでした。



金子夢さん(歯科口腔外科)マラソンで優勝!

昨年11月に青葉区民マラソンで優勝した金子夢さんが豊洲ぐるり公園にて行われた第19回東京豊洲ナイトマラソン大会で見事優勝しました。ご本人から以下のコメントを頂きましたので紹介します。

今回は病院の仲間と一緒にエントリーし、私のタイムは39分58秒でした。最後は辛かったけど天気にも恵まれ、夜ということもあり気持ちよく走ることができました。次は11/24に行われる第11回青葉区民マラソン大会に今年も出場します。去年を超えるタイムを出し優勝できるよう頑張ります!

12/8には川崎国際EKIDEN2024に病院の先生、職員にて多摩川河川敷コースを舞台に7人で襷を繋ぎます!皆さん応援をお願いします!



編集後記

8/4(日)シルバープラザ・緑の郷の合同納涼祭に撮影係として参加しました。お祭りは盆踊りに始まり、阿波踊りとソーラン節が続ぎ、フィナーレは花火と盛り沢山な内容で周囲は笑顔で溢れていました。暑い中、準備と運営を担当して下さった職員の皆様、お疲れ様でした。暑い日がまだまだ続きますので熱中症にはくれぐれもご注意ください。
(TOMO KAWAI)

今月号の特集は在宅科です。年齢別人口比が逆ピラミッドとなりつつある現代では、今後ますます需要の高まる科目であることを再認識しました。家族の介護や環境、そして自身の老後など、様々なことを考えるきっかけになったかもしれません。今月号も無事脱稿いたしましたことをご協力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。
(TAKEHITO OGOMA)

医療法人社団緑成会
横浜総合病院附属

あざみ野健診クリニック



年に一度の健康チェックを

〒225-0011
横浜市青葉区あざみ野2-2-9
あざみ野第3ビル4F

☎ 045-522-6300
FAX:045-903-0777



私たちは定期的な健診をお受けいただくことで、皆様の健康管理、疾患予防のお役に立ちたいと願っております。ご受診を心よりお待ちしております。詳しくはHPをご覧ください。

<https://azamino-clinic.com>

- ・インターネット予約
- ・あざみ野駅より徒歩1分
- ・総合病院との連携

医療法人社団緑成会
介護老人保健施設

横浜シルバープラザ



家庭に近い居住環境で、入居者の個性やニーズに沿い、他入居者との人間関係を築きながら日常生活を営めるユニットケアを導入した介護老人保健施設です。在宅復帰や在宅療養支援等の指標が特に高い施設のみが認定される「超強化型老健施設」に区内で唯一選ばれ、全国はもとより海外からも多くの福祉関係者が視察に訪れています。

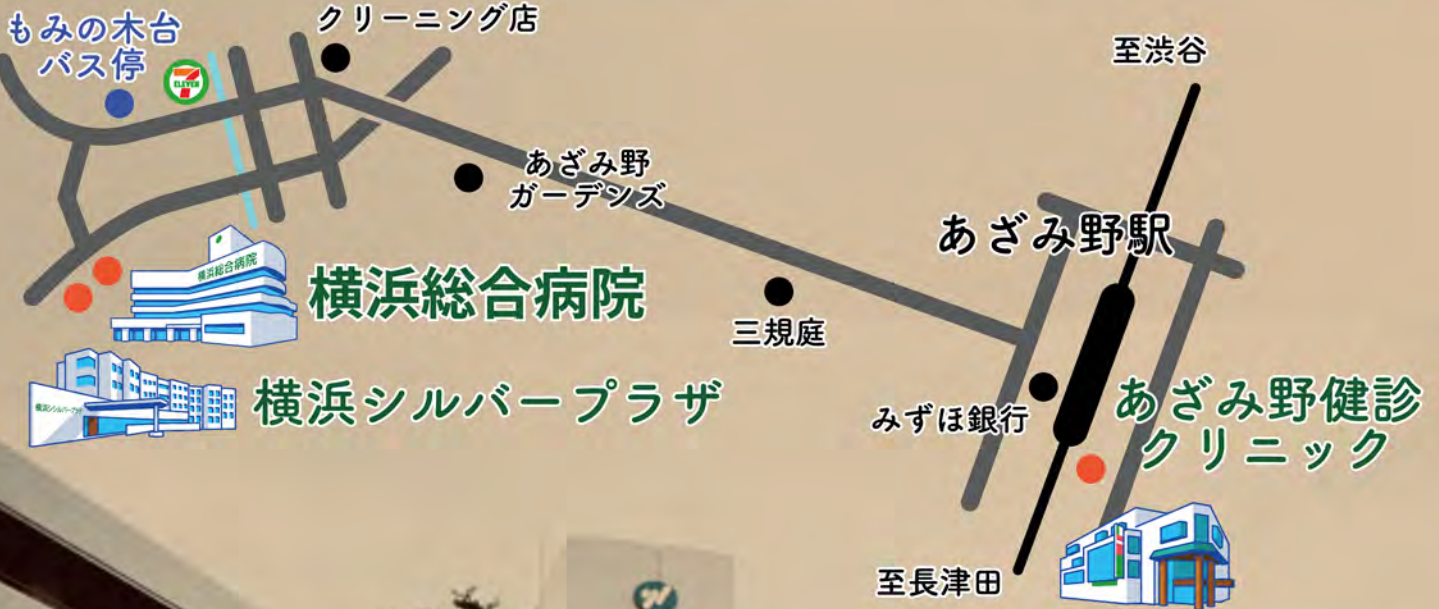
ご入居のご相談
お問い合わせは
こちらまで

〒225-0004
横浜市青葉区鉄町
2075-5

☎ 045-972-7001
FAX:045-972-7741



<https://silverplaza.jp>



路線バス

東急田園都市線「あざみ野駅」から「あ27系統すすき野団地」行き「もみの木台」下車徒歩7分

小田急線「新百合ヶ丘駅」から「新23系統あざみ野駅」行き「もみの木台」下車徒歩7分

診察時間

午前

受付 8:00~11:30
診察 9:00~12:00

午後

受付 1:30~4:00
診察 2:00~5:00

循環バス

あざみ野駅、青葉台駅、鶴川駅、奈良北団地、こどもの国駅、麻生、すすき野方面より当院直通バスを運行しております。詳しくは右記HPをご覧ください。



プロムナード VOL.377

〒225-0025 横浜市青葉区鉄町2201-5
TEL 045-902-0001

発行日: 2024年9月1日

制作・編集: 医療法人社団 緑成会 横浜総合病院
総務課『プロムナード』編集室

発行人: 岩坪 新



よこそう

